

2025年3月11日  
サイバーリーズン合同会社

## サイバーリーズン、EDR ソリューションの成長に向け 1億2,000万ドルの資金を調達

※本資料は日本時間 2025年3月10日に Cybereason Inc. (米国本社) が発表したリリース文の抄訳です。

**2025年3月10日** –カリフォルニア州ラホヤ–世界的なサイバーセキュリティ企業である Cybereason Inc. (以下「サイバーリーズン」)は本日、受賞歴のあるエンドポイント検出・応答(EDR)ソリューションと世界水準のコンサルティングサービスによるグローバルな成長を促進するため、ソフトバンク株式会社、ソフトバンク・ビジョン・ファンド 2、Liberty Strategic Capital が主導する1億2,000万ドルの投資を発表しました。この成長は、トラストウェーブとの戦略的パートナーシップによって強化されます。またマニッシュ・ナルラ(Manish Narula)が同社の新しい CEO に就任します。

### 新規資金調達について

サイバーリーズンは、ソフトバンク株式会社、ソフトバンク・ビジョン・ファンド 2、Liberty Strategic Capital を含む主要投資家から新たに1億2,000万ドルの資金を調達しました。他の既存投資家もこの資金調達ラウンドに参加する機会があります。

この投資は、サイバーリーズンの業界をリードする EDR 技術と、高度なサイバー脅威に対抗する能力に対する強い信頼を反映しています。これにより、同社は世界中の企業にとって長期的に信頼できるサイバーセキュリティパートナーとしての地位を維持し、クライアントの進化するニーズに応える優れた顧客サービスを提供するというコミットメントを強化します。

「主要投資家であるソフトバンク株式会社、ソフトバンク・ビジョン・ファンド 2、Liberty Strategic Capital がこの投資ラウンドを主導してくれることを大変嬉しく思います。この資金調達は、当社の技術の強さと、パートナーがサイバーリーズンに寄せる信頼の証です。」とサイバーリーズンの CEO であるマニッシュ・ナルラは述べています。「この資金注入により、サイバーリーズンの最高管理責任者と法務担当責任者であるグレゴリー・パフ(Gregory Puff)はサイバーリーズンの全チームと共に、サイバーセキュリティ技術とサービスの革新の限界を押し広げ、重要な市場で拡大し続けます。」

### リーダーシップの移行

マニッシュ・ナルラが本日付けで新しい CEO に任命されました。ナルラとパフは、経営陣の豊富なリーダーシップ、財務、および運営経験を活用し、新たな章における会社の成功に向けて体制を整えます。

この投資に伴い、サイバーリーズンの中核となる EDR(エンドポイント検出・対応)とコンサルティングサービスに改めて注力することを支援するため、以前発表した合併の意向を完了するのではなく、マネージドセキュリティサービスのリーダーであるトラストウェーブとの戦略的関係の拡大を追求することを決定しました。

### サイバーリーズンについて

サイバーリーズンは、世界をリードするグローバルなサイバーセキュリティ企業です。サイバーリーズンは、最先端の EDR および XDR による攻撃防御と、インシデントライフサイクルのあらゆる段階で組織を支援する、業界で認められたコンサルティングサービスを提供しています。

サイバーリーズンは、市場で最高のテクノロジーと業界トップの専門家を活用し、進化する脅威環境において、サイバー脅威を予測し、耐え、回復し、適応できるように支援します。サイバーリーズンは、カリフォルニア州に本社を置く、非公開の国際企業であり、40 カ国以上に顧客を有しています。詳しくは、<https://www.cybereason.com/>をご覧ください。

### 将来の見通しに関する記述

このプレスリリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。「信じる」、「かもしれない」、「だろう」、「潜在的に」、「見積もる」、「継続する」、「予想する」、「意図する」、「可能性がある」、「計画する」、「期待する」、および将来の出来事や結果の不確実性を示す同様の表現は、将来の見通しに関する記述を特定することを意図しています。これらの将来の見通しに関する記述には、以下に関する記述が含まれますが、これらに限定されません。(i) 投資の完了条件が発生するかどうか、および/または投資がまったく発生するかどうか、(ii) 規制当局の承認が得られるかどうか、および/または規制当局の承認の受領を条件とするイベントがまったく発生するかどうか、(iii) クラウドベースのセキュリティソリューションの市場(国内外)の成長の可能性と将来のサイバーセキュリティ支出、(iv) 当社の事業計画と成長を効果的に管理する当社の能力、(v) 当社の事業および当社が事業を展開する市場における予想される傾向、成長率、課題、(vi) 当社がコストを管理し、効率性を見出す能力、および当社の現金ニーズを満たすための現金の十分性。

これらの将来の見通しに関する記述は、多くのリスクと不確実性の影響を受けます。当社がすべてのリスクを予測することは不可能であり、すべての要因が当社の事業に与える影響、または要因の組み合わせが実際の結果を将来の見通しに関する記述に含まれるものと大きく異なるものにする程度を評価することもできません。これらのリスク、不確実性、および仮定に照らして、このプレスリリースで議論された将来の見通しに関する出来事や状況が発生しない可能性があり、実際の結果は将来の見通しに関する記述で予想または暗示されたものと大きく不利に異なる可能性があります。

す。このプレスリリースで行われた将来の見通しに関する記述は、記述が行われた日付の出来事のみに関連しています。当社は、実際の結果または当社の期待の変化にこれらの記述を適合させるために、いかなる理由であれ、将来の見通しに関する記述を公に更新する義務を負いません。さらに、「私たちは信じている」などの記述は、関連する主題に関する当社の信念と意見を反映しています。これらの記述は、このプレスリリースの日付時点で当社が入手可能な情報に基づいており、その情報は限定的または不完全である可能性があり、当社の記述は、当社が潜在的に利用可能なすべての関連情報を徹底的に調査またはレビューしたことを示すものとして解釈されるべきではありません。これらの将来の見通しに関する記述およびその他すべての将来の見通しに関する記述は、本質的に不確実であり、信頼されるべきではありません。

- **Cybereason** および **Cybereason** のロゴは、**Cybereason Inc.**の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
  - その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
  - このプレスリリースに記載されている内容、製品・サービスの価格、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発表日時点のものです。これらの情報は予告なしに変更される場合があります。
-